

リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)

専門科目(リハビリテーション科学学位プログラム_博士後期課程)

科目番号	科目名	授業方法	単位数	標準履修年次	実施学期	曜時限	教室	担当教員	授業概要	備考
OBTE101	リハビリテーション科学基礎論	2	1.0	1	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する文献検索能力を養い、担当教員の専門領域の最新知識および研究方法を習得する。その上で、担当教員の下で研究計画の策定の基礎を学び、研究計画発表会にて成果を報告する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面 原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE102	リハビリテーション科学演習I	2	1.0	1	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進め、文献発表会にて成果を報告する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面 原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE103	リハビリテーション科学演習II	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究方法を習得する。その上で、担当教員の指導の下で研究計画に基づいた研究を進め、研究経過報告会にて成果を報告する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面 原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE104	リハビリテーション科学特論I	2	1.0	2	通年	随時		リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの収集法を学び、中間発表会にて成果を報告する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在學生に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面 原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する

OBTE105	リハビリテーション科学特論II	2	1.0	3	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの解析法を学び、研究経過報告会にて成果を報告する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面原則として対面で実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE106	リハビリテーション科学特論III	2	1.0	3	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画にそって、論文作成のための研究に必要な資料、データの分析法を学び、論文構成に関して検討した上で、査読付き学会誌論文として投稿する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面原則として対面で実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE201	職業リハビリテーション特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	八重田 淳	職業リハビリテーションに関する英語文献検索能力を養い、専門領域の国際的な最新知識および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文を目的とする。各自の研究テーマと関連づけながら、人の生涯発達に係わる職業リハビリテーションに関する問題の解決手法の学習を通して研究計画の策定を行う。具体的には、研究計画を設定・実施し、その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して、論文を作成する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況により対面(オンライン併用型)、オンライン(対面併用型、オンデマンド型、同時双方向型)に変更する可能性がある。どの回が対面なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE202	障害科学特論	1	1.0	1 - 3				研究テーマに関する論文を読み、聴覚障害・言語障害児者の聴覚・心理・言語学的特性と障害状況・機序、リハビリテーション支援などについての理解を深めると共に、博士論文作成に関連した議論を行う。さらに、テーマに関する文献リストを提出し、先行研究についてレビューを行う過程について学習する。各自の研究テーマについて研究計画に沿ってデータベース等によって基本的な文献を検索し、文献リストを作成し、最先端の研究動向と問題点についての確に理解する。また、独自の視点と問題意識等を確立し、研究の展開方向を明確化する。文献検索スキルを習得し、文献研究発表会で発表する。その後、総説論文を作成して投稿論文として完成させる	2024年度開講せず。受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する可能性がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE203	発達支援科学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	発達障害を理解し、どのように支援されるべきかについての文献研究、専門領域の知識および研究方法を習得する。発達障害を理解する上で必要となる心理学的な知識(認知的な特徴、発達、行動等)、学習上の特徴を取り上げ、さらに、支援のための通常学校でのシステム、教育相談など、指導につなげるためのリソースについても理解を深める。最終的には、発達障害支援科学に関する研究計画を設定・実施し、研究論文を作成する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する可能性がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。

OBTE204	発達支援評価特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	佐島 毅	障害のある子どもの発達評価と家族を含めた支援と各自の研究テーマと関連づけながら、発達支援に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画を設定・実施し、その結果分析と研究課題に関連する文献の批評を通して、ドラフト論文を作成する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE205	コミュニケーション発達支援特論	1	1.0	1 - 3				コミュニケーション障害のある人々の生涯発達支援における、文献研究、統計解析、論文執筆に関する基礎知識、それに当該領域の最新知識を習得する。その上で、研究計画の立案、研究の遂行、そして研究成果の論文化を目的とする。各自の研究テーマと関連付けながら、コミュニケーション発達支援に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画の立案を行う。具体的には、適切な文献研究に基づく課題抽出、研究計画の検討、研究実施およびデータ分析に関わる様々な基礎知識の習得、それに研究成果の論文化である。	2024年度開講せず。 受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE206	リハビリテーション科学特別演習I	2	1.0	1	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析に関する論文指導を行う	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE207	リハビリテーション科学特別演習II	2	1.0	2	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって資料、データ解析結果の考察に関する論文指導を行う	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する
OBTE208	リハビリテーション科学特別演習III	2	1.0	3	通年	随時	リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)_指導教員	リハビリテーションに関する指導教員の専門領域における研究計画に基づき、研究の実践、指導を行い、設定した研究テーマにそって論文を執筆し、まとめに関する論文指導を行う	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の必修科目。対面原則として対面を実施する。各担当教員により実施形態は対面やオンライン(オンデマンド型)、オンライン(同時双方向型)等となる場合もある。詳細はManaba等で事前に周知する

OBTE209	リハビリテーション科学特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	山田 実	リハビリテーション科学における、文献研究、統計解析、論文執筆に関する基礎知識、それに当該領域の最新知識を習得する。その上で、研究計画の立案、研究の遂行、そして研究成果の論文を目的とする。各自の研究テーマと関連付けながら、コミュニケーション発達支援に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画の立案を行う。具体的には、適切な文献研究に基づく課題抽出、研究計画の検討、研究実施およびデータ分析に関わる様々な基礎知識の習得、それに研究成果の論文化である	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE210	教育支援システム特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	川間 健之介	教育に関連する諸問題についての理解を深めるとともに、教育支援システムに関わる研究に必要な基礎的な知識を身につける。小学校、中学校、高等学校および特別支援学校における特別支援教育に関する諸問題を多面的に検討し、科学的な根拠に基づく包括的な教育支援システムのあり方を考察する	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE211	ケアマネジメント特論	2	1.0	1 - 3	通年	随時	小澤 温, 大村 美保	ソーシャルワークおよびケアマネジメントに関する最新知識および研究方法を習得する。その上で、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文を目的とする。各自の研究テーマと関連付けながら、ソーシャルワークおよびケアマネジメントに関する課題の学習を通して研究計画を立案する。計画に基づいて研究を実施し、その結果の分析・解析と研究課題に関する文献の検討を通して、学会誌投稿論文執筆に向けた指導を行う。その間、学会発表や中間発表などを通じて、明らかにされた課題を含め、より高度な研究展開と論文の完成を目指す	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によっては対面とオンライン(同時双方向型)の併用に変更する場合がある。どの回がオンライン(同時双方向型)になるのかといった具体的な授業スケジュールはManaba等で示す。
OBTE212	中高年・障害者発達支援特論	1	1.0	1 - 3				中高年・障害者の発達支援における、文献研究、統計解析、論文執筆に関する基礎知識、それに当該領域の最新知識を習得する。その上で、研究計画の立案、研究の遂行、そして研究成果の論文を目的とする。各自の研究テーマと関連付けながら、コミュニケーション発達支援に係わる諸問題の解決手法の学習を通して研究計画の立案を行う。具体的には、適切な文献研究に基づく課題抽出、研究計画の検討、研究実施およびデータ分析に関わる様々な基礎知識の習得、それに研究成果の論文化である。	2024年度開講せず。 受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。
OBTE213	ダイバーシティ科学特論	1	1.0	1 - 3	春学期 秋学期	随時	河野 禎之	認知症や高次脳機能障害等の疾患のほか、性的マイノリティを含む社会的少数者を取り巻く臨床及び社会的課題についての理解を深めるとともに、人の多様性と包摂(ダイバーシティ・インクルージョン)に関わる研究に必要な基礎的な知識を身につける。障害科学、心理学、社会福祉学、リハビリテーション科学領域における文献検索能力の向上、専門領域の最新知識および研究デザインを習得する。そのうえで、研究計画の策定を行い、実施し、研究成果の論文を目的とする	受講は、リハビリテーション科学学位プログラム(博士後期課程)の在学生在に限る。対面ただし、状況によってはオンライン(同時双方向型)を併用する場合がある。どの回が対面(またはオンライン)なのか等の授業の具体的なスケジュールはManaba等で周知する。